

# 平成27年度 胎内市社会科部 活動報告

部長 小室 謙司

## 1 研究主題

地域教材を効果的に活用し、社会的思考力を高める授業のあり方

## 2 研究内容の概要

(1) 第1回部会 「事業計画の立案」 会場 中条小学校 16:00～ 参加者15人

(2) 第2回部会 「城の山古墳学習会」 会場 城の山古墳、奥山荘歴史館、  
柴橋地域センター考古資料室、中条小学校  
9:00～ 参加者14人

① 講師 水澤 幸一 様(胎内市教育委員会生涯学習課文化財係長)

② 概要

- ・ 城の山古墳では、最新の発掘状況について、前方後円墳跡とみられる堀の発掘工事箇所を見学しながら、発掘責任者である講師から説明を聞いた。また、奥山荘歴史館では副葬品を見学しながら、埋葬者の社会的地位や当時の文化について学ぶことができた。



(3) 第3回部会 「授業研究会」 会場 胎内小学校 14:05～ 参加者17人

① 授業者 佐々木 俊 教諭(胎内小学校)

② 指導者 中村 祐一 様(胎内市立築地中学校長)

③ 単元名 第4学年「昔から今へと続くまちづくり ～塩津潟の干拓について～」

④ 概要

地域学習として塩津潟の干拓を教材化し、「塩津潟周辺の古地図」を教材として、現在の航空写真と比較させる資料提示による社会科授業を提案した。参観者からは、古地図と航空写真を同時に出すこと、余計な情報を排除した資料に加工すること、地図と航空写真の方位をそろえて提示することなどの改善点が指摘された。地域の先人の努力を学び、地域に対する誇りや愛情をもった子どもを育てる地域教材の開発において、提案性のある授業であった。



## 3 成果と課題

(1) 成果

地域巡検では、日本最北端の前方後円墳の可能性のある城の山古墳について、実際に現地での遺構の発掘状況を見ながら、前方後円墳と推定する根拠について説明を聞くことができた。地域での考古学的発見となり得る遺跡として、会員は興味をもって参加することができた。

授業研究会では、小中学校の先生方が地域教材の活用をテーマに協議できたことは大変有意義であった。また、本時の授業についてだけでなく、地域素材の教材化で大切にすべきことや、ねらいを達成するための資料提示と具体的な評価についてご指導をいただいたことは、部員の社会科授業を振り返るよい機会となった。同時に、地域への愛情や誇りをもつ子どもの育成について考えることができた。

(2) 課題

各校で地域学習をより円滑に進めることができるよう、各学校の地域学習の単元指導計画を集めて情報交換し、自校の財産として指導計画の着実な整備と改善につなげていく。